

サプライチェーンマネジメントの導入

目的、検討の進め方

目的

- 調達、製作、運搬、組立等の各工程の改善を図ることにより、サプライチェーンの効率化、コンクリート工の生産性向上を目指す

検討の進め方

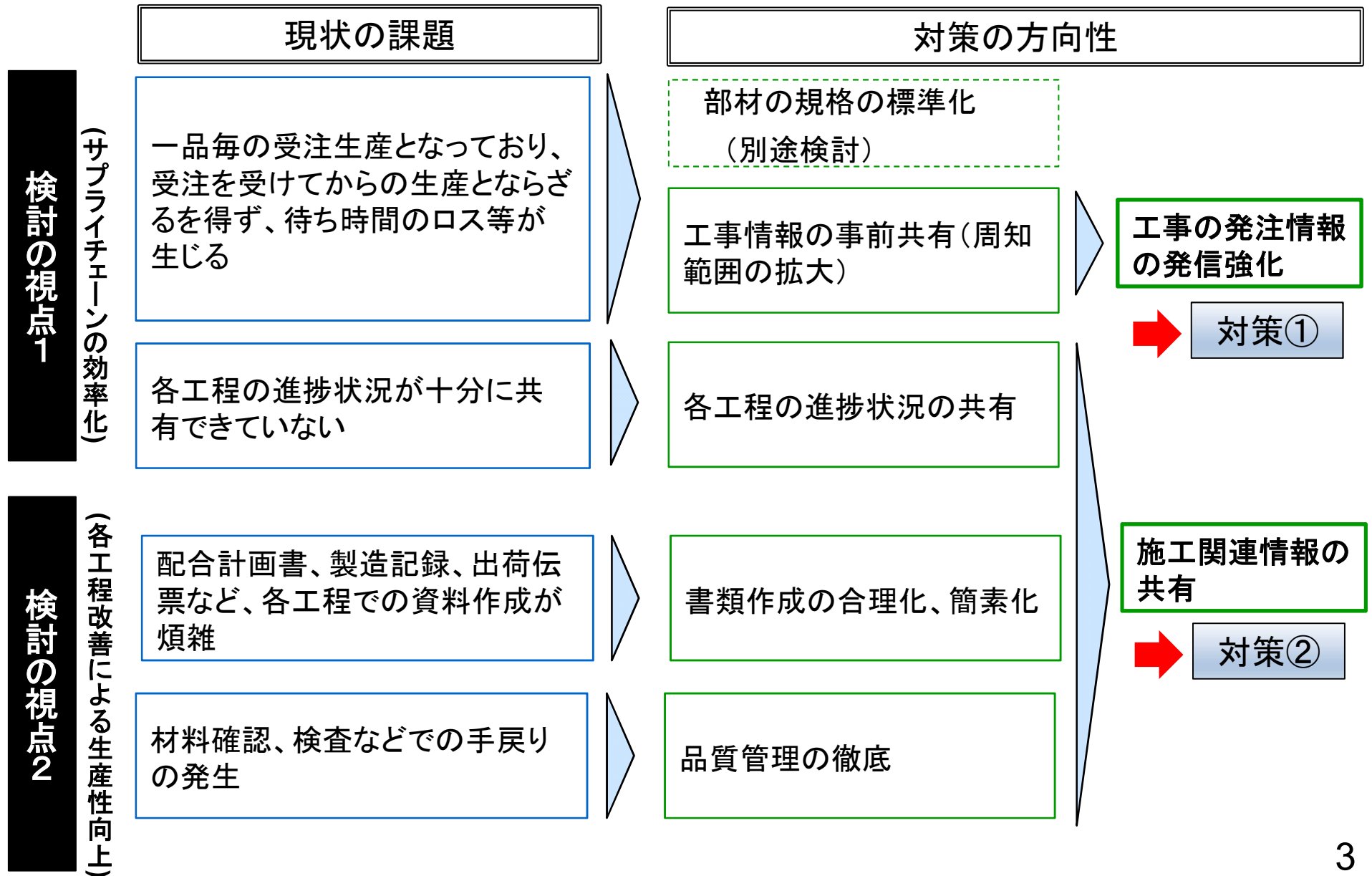
- ① 以下のサプライチェーンマネジメントの検討の視点に基づき現状の課題の整理
- ② 課題の整理に基づき、対策の方向性を検討

検討の視点1

- 待ち時間のロスの解消等、サプライチェーンの効率化に向けてどの様な対策がとれるのか

検討の視点2

- 生産性向上の観点から、各工程において、材料の供給等に関連して改善すべき対策はないか

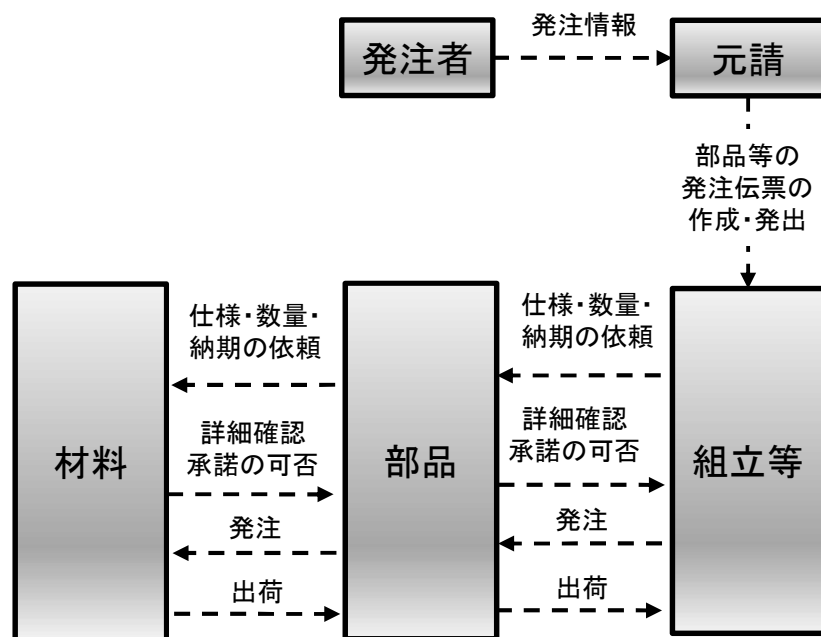


対策①の方向性

- 工事情報について、関係者でより早期かつ具体的に共有できる仕組みを検討
 - 工事情報が関係者間で共有されることで、早期に調達計画を検討できるとともに、材料調達のミスマッチの解消を期待

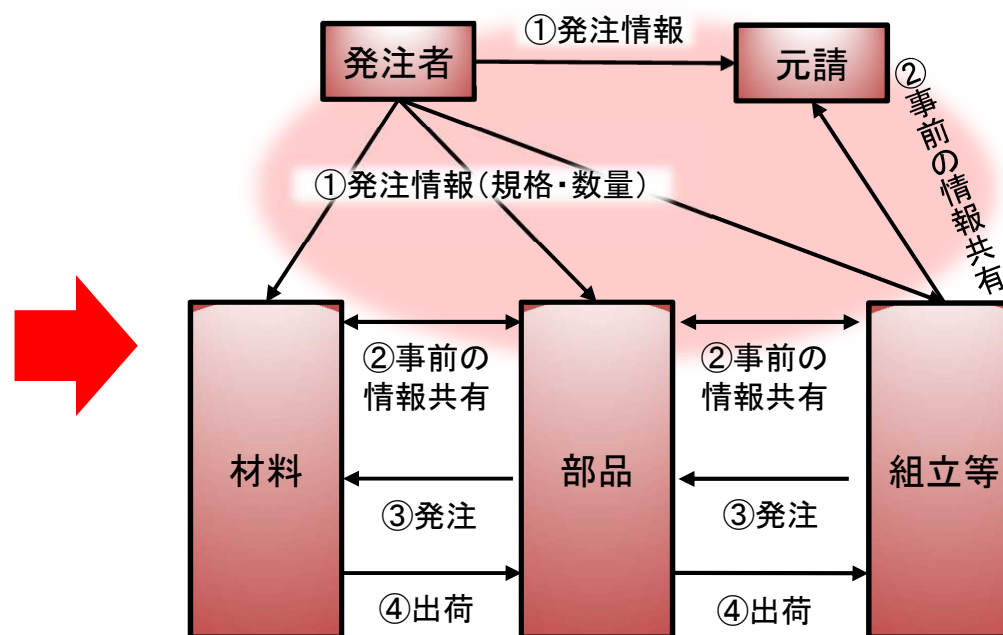
従来方式

一対一での調整



将来

情報を事前かつ幅広く発信・共有



対策①の方向性 発注情報の発信強化

対策の方向性(案)

- 発注見通しや入札公告情報と関連づけて技術・工法についても情報発信を行う
(従来の入札情報サービスの表記・機能の拡充等を想定)

※東北地方整備局『発注見通しとりまとめ版』を参考に作成

発注機関名	担当事務所名	工事名称	工事場所	工事場所	入札契約方式	工事種別	入札予定時期	工期	概要	概算工事情報
〇〇地方整備局	〇〇国道事務所	〇〇工事	〇〇市	〇〇市	一般競争入札	土木工事	H〇〇.〇	約12ヶ月	PCa擁壁:15m (5m@3,H=3m)	〇億円以上〇億〇〇千万円未満
									橋脚3基 埋設型枠 (t=50mm,1000×1800)	

より正確に、より早期に工事情報を発信

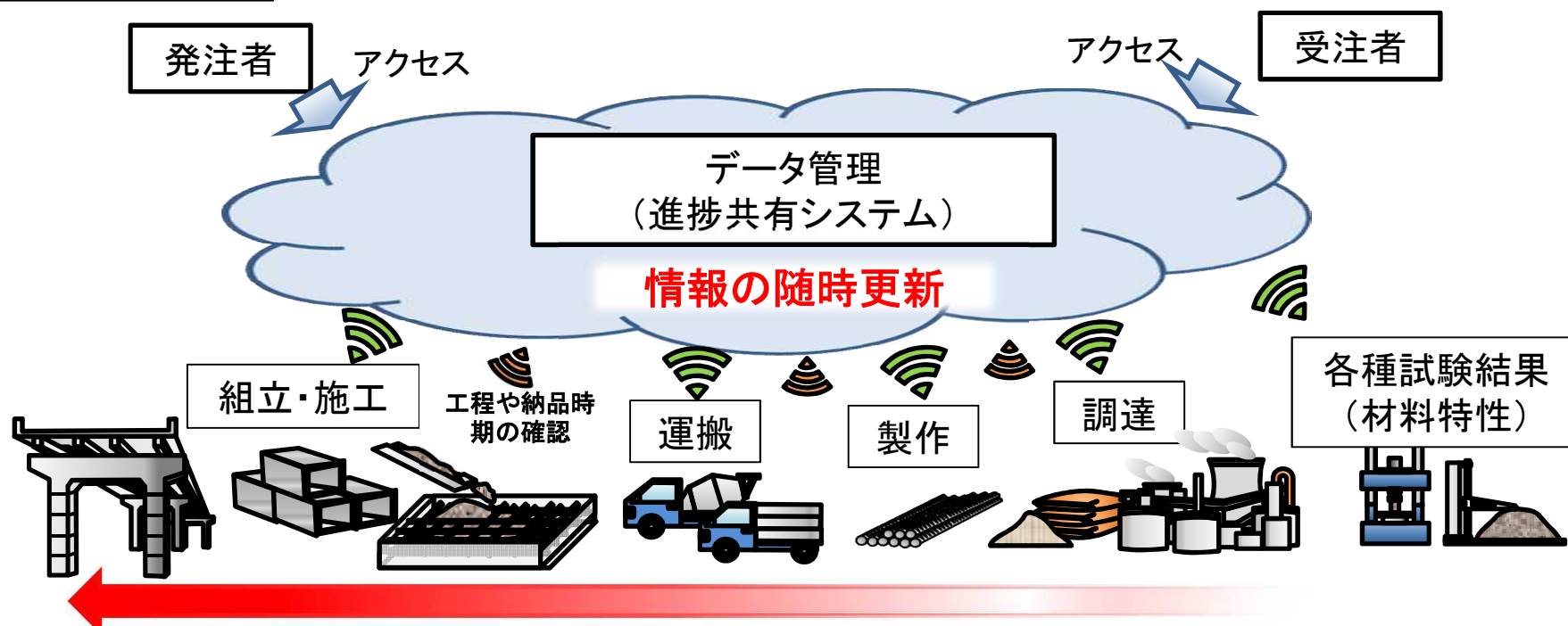
入札情報サービス(PPI)

対策②の方向性 施工関連情報の共有

対策の方向性(案)

- 施工関連情報の電子化、クラウド化による共有の推進を検討
 - 工程の進捗情報を共有することで、適切な工程管理を期待
 - 電子データを随時保存することで、書類の簡素化や材料確認、検査の合理化を期待
 - 将来的には補修・点検結果を追記することで、維持管理段階での活用も期待
- 住宅メーカーや施工業者の先行事例についてヒアリング等を実施し、直轄工事での活用方法を検討

対策のイメージ



ご議論いただきたいこと

- サプライチェーンマネジメントの導入に向け、どのような検討の視点が必要か
- 対策を実施するにあたり、どの様な先進事例等を参考とするのが良いか